

JFE エンジニアリングは 沖縄・辺野古基地のケーソンをつくるな！

JFE エンジニアリング株式会社
代表取締役社長 狩野 久宣殿

辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会
代表 柴田 天津雄(090-6807-1089)

2015年2月、沖縄から大変なニュースが飛び込んできました。沖縄の辺野古基地建設用のハイブリッドケーソン6基が三重県の工場で作られるらしい、ということでした。調べてみると、津市のJFE エンジニアリング津製作所(旧日本鋼管内)が作ることが分かりました。

ハイブリッドケーソンとは、鉄筋コンクリート製の巨大な箱で、海上空港をつくる時に護岸として建設現場で沈められて、そのまま岸壁の一部になるものです。辺野古基地のケーソンは52m×22m×24mの巨大なものになります。それが6基、JFE エンジニアリングでつくられて沖縄まで運ばれて、辺野古基地の土台として300mの岸壁になると言われています。

沖縄では、在日アメリカ軍基地の約75%が集中しています。わたしたちは沖縄の人々に過酷な負担を負わせ続けています。いま、沖縄の人々は普天間基地の即時返還と辺野古新基地の建設反対を求めてたたかいをすすめています。沖縄には基地負担の軽減こそ必要で、これ以上の基地の強化は許されません。

JFE エンジニアリングが沖縄・辺野古基地のケーソンを製造することは、わたしたちの願いに反するだけでなく、沖縄県民の切実な願いに敵対するものです。また貴社が、企業理念として掲げている「地球環境との共存」にも反するものです。

わたしたちはJFE エンジニアリングが沖縄・辺野古基地建設用のハイブリッドケーソンの製造から、いまずぐ、手を引くように強く要請します。

氏名	住所

署名集約先 〒514-0818 三重県津市城山3丁目10番4-305 柴田天津雄 方
辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会

辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会

私たちは、津にある JFE エンジニアリング津製作所(元日本鋼管津造船所) が、辺野古新基地のための「ハイブリッドケーソン」を作ることに反対しています。ケーソンとは、52m×22m×24m、総重量 7400 トンもある鉄筋コンクリート製の巨大な箱で、辺野古の海に沈められて、海上基地の土台になります。

日本にある米軍基地の 74%が、沖縄にあり、
米兵による犯罪が毎年、100 件ほどもあります。
決して 沖縄の人たちが望まれたことでは ありません。

この前の戦争で敗けたときに、先祖伝来の地を無理やり取り上げてつくった米軍基地
その沖縄に、いま、また、新しい基地を作ろうとしています。美しい辺野古の海に。



もうイヤ！ これ以上作らないで！という悲鳴が いま沖縄には満ち満ちています。

もう耐えられない、もう基地はいらない！

この叫びは、翁長知事が、代表して訴えている沖縄の方々
の心底からの声なのです。

テーブルサンゴが群生する辺野古の海

★辺野古新米軍基地は、単に普天間飛行場の機能を移転させるだけでなく、軍港や弾薬庫を持つ一大出撃基地に変貌します。……ですから……沖縄の人々の闘いの根っこに、

ベトナム戦争、イラク戦争の時のように

「再び戦争に加担したくない」「基地を止めることは次の戦争をとめること」
というお気持ちが強くあります。

それこそが沖縄の叫びです！

想像してみてください。軍用機が轟音あげて低空飛行し、幼子までが米兵の性暴力の犠牲になる毎日を。ヤマトで「平和」に暮らしている私たちには、実感しにくいその現実を。今年は「戦後 70 年」と言われましたが、沖縄には、まだ平和の日は来ていません。憲法 9 条だって、沖縄の人たちにとっては「絵に描いた餅」です。その沖縄を、戦争の加担者にする、それが新基地建設です。その新基地の土台となるケーソンを6基も、この三重で作って送るなんて…どうしてもしたくないのです。